

6月定例会

P2~3 県内初 日曜議会を開催！

P4~5 陳情審査・常任委員会調査報告

P6~11 一般質問 日曜議会にて 村政を問う
(アンケートの結果)

P12 第1回議会モニター会議のご報告

P13 追跡 ミライトひえづの今後

P14~15 村民インタビュー
日吉津村

グラウンド・ゴルフ協会の皆さん

みんなとであって
たのしいよ

—子育てサークルひまわり—



議会ひえづが
ご覧になれます

を開催！

教育委員会の所管に



補正予算案等すべて可決

《補正予算額》

- 一般会計 2,131万円 増
- 国民健康保険事業勘定特別会計 290万円 増

第2回 定例会

主な歳出項目

地方創生支援マネージャー 委託業務

800万円

第3者の視点で日吉津村の魅力を再発見し、その魅力の発信などを核となつて行うマネージャーを民間から受け入れるため。

質疑

問

シティープロモーションなど具体的な説明を。

答

村の魅力を発信するための様々な宣伝活動を行う。

鳥取県イネカメムシ防除対策 支援事業補助金

80万円

昨年度県西部で被害を与えたイネカメムシが越冬し、出穂期の被害が懸念されるため、防除作業に対して補助を行う。

質疑

問

昨年村内で被害があったか。

答

他地域と比べると少ないが、被害はあった。

ヴィレステひえづ 高圧ケーブル更新

429万円

同種のケーブルの故障が村外で起きており、調査した結果、「要注意」の判定を受けたため更新を行う。

質疑

問

リコールの対象とならないのか。

答

販売メーカーの瑕疵（かし）ではないと国が方針を出している。

6月定例会は、6月3日から14日までの12日間とし、条例の一部改正1件・補正予算2件・人事案件2件などの16議案を審議し、すべて可決・承認・適任とし閉会しました。

県内初

日曜議会
ヴィレステひえづを

条例改正

議案
第22号

日吉津村複合施設設置及び管理に関する条例の一部改正

理由：機構改革に伴い、教育委員会事務局を庁舎内からヴィレステひえづ内に移転するため、管理及び業務について見直す。

概要：「生涯学習及びコミュニティ活動の推進」「図書館業務」「ヴィレステひえづ運営審議会の会議運営」などを教育委員会が行うこととする。

施行期日：令和6年7月1日

質疑

問

今後の方針は。

答

今までヴィレステひえづが行ってきた生涯学習、社会教育を、より一層発展・充実させていく。



▲ヴィレステひえづの事務室

議案
第24号

令和6年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

●マイナンバー保険証一体化に伴う電算処理業務を行うもの

一般討論

反対 江田加代 議員

「使い慣れた保険証を廃止すべきでない。対応できない人の受診控えが心配される。」

賛成 加藤 修 議員

「被保険者が不利益を被らないためのシステム改修の予算である。」

採決



可決

賛成多数（8対1）



承認第1号

日吉津村税条例の一部改正

【理由】

地方税法の一部改正にともなう本条例の一部を改正する。

【概要】

個人住民税の定額減税を行う。令和6年度の個人住民税所得割から、納税者及び配偶者、扶養家族一人につき1万円を減税する。

問

具体的に説明を。

答

給与所得者に對しては6月は徴収しない。以後は定額減税分を控除した額に課税。年金所得者については10月から開始。

承認第2号

日吉津村国民健康保険税条例の一部改正

【理由】

地方税法施行令の一部改正に合わせ、本条例の一部を改正する。

【概要】

①後期高齢者支援金分に関する基礎課税額の上限（限度額）を22万円から24万円に引き上げる。

②5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の所得基準を引き上げる。

問

本村の対象世帯は何世帯か。

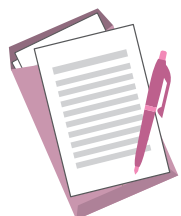
答

①限度額が24万円になっても3世帯のまま変わらない。
②5割軽減は46世帯が47世帯になり、2割軽減については35世帯が36世帯になる。

諮問第1・2号

人権擁護委員の推薦

清水 香代子氏
青山 高志氏



陳情3件を審査しました

6月議会では、村議会へ3件の陳情が提出されました。「総務経済常任委員会」と「教育民生常任委員会」に審査が付託され、その委員会の結果報告を受けて、本会議にて討論・採決を行いました。

【総務経済常任委員会付託案件（1件）】

陳情第2号 地方財政の充実・強化を求める陳情

【陳情者】 自治労鳥取県本部 執行委員長 三浦 敏樹
日吉津村職員労働組合 執行委員長 松田 健作

委員長報告

採 択

（全会一致）

討論なし

本会議結果

採 択

（全会一致）

【教育民生常任委員会付託案件（2件）】

陳情第3号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2025年度政府予算にかかる意見書採択の陳情

【陳情者】 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 先灘 文広
鳥取県教職員組合西部支部 支部長 内田 浩文

委員長報告

採 択

（全会一致）

討論なし

本会議結果

採 択

（全会一致）

陳情第4号 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める陳情

【陳情者】 原水爆禁止鳥取県西部地区協議会 理事長 松原 光男

委員長報告

採 択

（賛成多数）

反対討論
松田悦郎議員

日本は、米国の『核の傘』で守られている。
核保有国と非保有国の橋渡しをすべき役目だ。

賛成討論
江田加代議員

日本政府の条約参加で、核兵器廃絶に勢いがつく。

本会議結果

不採 択

（賛成少数）

* 討論における反対・賛成は、委員長報告に対するもの、採決は陳情の原案に対し採択○、不採択×とするものです。

陳情番号	件 名	斉田	加藤	江田	長谷川	前田	石原	河中	橋井	松田	山路
第2号	地方財政の充実・強化を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛否表明しない 議長は
第3号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2025年度政府予算にかかる意見書採択の陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第4号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める陳情	×	×	○	×	○	○	○	×	×	

常任委員会による 閉会中の調査報告

総務経済常任委員会

●主な調査内容と考察

国道431号沿道北側は、すでにコインランドリーやラーメン店などが出店、その後の出店計画など進ちょく状況を確認した。それ以北の開発エリアはようやく造成工事と擁壁工事が行われていた。隣接する住宅や農地への配慮を十分努められたい。

海浜運動公園のPPP※計画については、事業の進ちょく、また民間資本の応募・プレゼン内容についても公開し、村民意見を聴取しつつ検討されたい。

※PPP：公民が連携して公共サービスを提供する手法（PFIや指定管理者制度も含まれる）

●調査項目 国道431号沿道区域の開発と海浜エリアの状況について

●調査日 令和6年5月9日



▲431号北側の造成工事を確認

教育民生常任委員会

●主な調査内容と考察

小学校の学校給食の現状についてヒアリングし、給食も試食した。他県での事故や集団食中毒のようにならぬよう、細心の注意がなされている。給食は命と健康を守るだけでなく、食を通して学ぶ食育の一環でもある。

学校栄養職員と給食職員の熱意とご苦労によって、安全で美味しい給食の提供がなされている。また、食材の地産地消に配慮され、アレルギー除去食の提供もされていた。



▲給食の準備作業を視察

一般質問

6月9日 日曜議会にて

村政を問う



議員	ページ	質問事項
加藤 修	6	自主防災組織の役割は
松田 悦郎	7	役場電話保留音の見直しを
斉田 光門	7	企業誘致の道路網整備は
前田 昇	8	村民の声を活かすむらづくりを
石原 浩明	8	村誌続編の準備を進めては
長谷川康弘	9	村のゴミ処理の課題と今後は
河中 博子	9	進化し魅力ある村づくりを
江田 加代	10	学校給食費の会計は役場で
橋井 満義	10	うなばら荘の決着と王子製紙の増設は



自主防災組織の役割は

村長 地域の助けあいがベース



加藤 修 議員

Q ① 自主防災組織のあるべき姿とその役割は。
② 防災士の必要性とその役割は。
③ 防災と減災の違いは。

村長

A ① 自主防災はあくまでも「地域での助けあい」がベース。普段から顔の見える関係作り等、自分たちの地域は自分たちで守るよう無理せず継続的な参加が必要。
② 防災士の養成を進めている。講演会等で、

その役割を勉強し防災士間の連携をはかりながら活動を進める。
③ 防災は災害に備えるもの。減災は、発災後村民の皆さんをいかに安全に避難させるかである。近年防災組織の取り組みが防災ではなく減災に偏りつつある。自主防災組織はあくまでも防災に対しての活動組織である。本来の防災の観点に立ち返り活動を進めていただきたい。



▲防災活動の充実を（イオン屋上にて）



松田悦郎 議員

役場電話保留音の見直しを

村長 **好評な声もある**



▲聞きづらいのは私だけでしょうか

Q

「ひえづの歌」

を否定するものではないが、役場電話保留音について、音が大きく耳ざわりとの声を住民から聞いている。

以前の電話保留音の変更理由と現在の保留音見直しについて伺う。

A

村長

現在の電話保留音は、ひえづの歌「ほせい村からこんにちは、元気もりもりひえづ村」を採用している。

この曲は、専門業者者に任せるのではなくて、村民延べ400人以上のご協力ですべてつくりあげた作品である。

ひえづの歌を保留音で活用することで、この歌の認知度を高めるとともに、日吉津村をアピールすることから、今後も活用したい。村民からはどちらかと言えば好評な声をいただいております、批判的な声は聞いていない。

企業誘致の道路網整備は

村長 **商業系地区計画の最低基準に基づく**



齊田光門 議員

Q

① 富吉北地区計画の事業経過と完了は。

② 日野川右岸道路の海岸までの延長は。

③ 渋滞緩和のため、日野川新橋梁架設の要望は。

④ 富吉北地区計画事業の交通安全対策と道路拡張は。

⑤ 店舗営業時間の短縮は可能か。

A

村長

① 地区計画案はまちづくり協議会が作成したものを日吉津村が受け付けたもの。令和6年1月29日都市計画決定した。現在、ホームセンター等が造成工事中で今年度中の完了予定である。

② 国道9号から国道431号までは県の事業で、県と引き続き連携し早期完成を目指す。現時点で海岸までの延長の要望はしていない。

③ 高規格道路整備の折

には、日野川を通過する道路に架橋が考えられる。

④ 商業系地区計画の最低基準にもとづいて2車線の片側歩道付き・幅員9mとする。村道富吉線は両側1m拡幅のうえ、右折レーンの新設。店舗への出入り口になる道路にも右折帯を設置する。道路の完成が近づいたら、再度、現地調査し必要な対策をはかる。

⑤ 営業時間の短縮は、県に意見書を提出し要望したが、今のところは変更はない。



▲造成中の富吉北地区計画事業

村民の声を活かすむらづくりを

村長 自治基本条例に基づきすすめる



前田 昇議員

Q 他の自治体の条例とも比較しながら自治基本条例の見直し、28条に基づく点検をすべきでは。

A 村長 職員もその都度研修を深めている。推進委員会には、さまざまなご意見をいただき、参画と協働のむらづくりについて、村民へ浸透するよう取り組んでいただいている。推進委員会での意見も踏まえ、条文の見直しもしてまいりたい。

Q 総合計画・後期計画の見直しに向けた取り組みの手順は。

A 村長 今年度については、村民アンケート調査の実施、また従来の審議会やむらづくり委員会に加えて、若い世代との対話の機会を設けたい。



▲まずは村民が利用しやすい公園に

Q 海浜運動公園について多額のコンサル料も予算化して検討されてきた。目指すのは、「村民が日常的に集う公園」なのか「村外からたくさんの方が訪れる公園」なのか。

A 村長 令和5年3月に「活性化計画」を策定し、検討してきた。村内外の皆さんにとって魅力ある公園とするために、民間のノウハウを導入して整備をすすめたい。

村誌続編の準備を進めては

村長 節目の年に向けて編さんを検討したい



石原浩明議員

Q 村誌は1986年に発刊された。38年経過して、村にとって記録に残すべきものが多くある。続編発刊の準備をすすめては。

A 村長 村誌は、村制施行100周年に合わせて編さんされた。次回も、節目の年に向けて検討したい。

Q その基礎資料となる行政文書も、適切な保存に努めたい。

A 村長 役場等の行政資料はどのような保管、廃棄されるのか。

Q 文書保存整理規定に基づき、保存又は廃棄している。

A 村長 いろいろな資料のデジタル保存はしてあるか。

Q 平成15年以後の広報誌をデジタル保存している。また113chは、平成29年にデジタル化を完了している。デジタル保存は村誌制作の材料として大切であり、引き続きデジタル保存を進めていく。

A 村長 「ふるさと読本」の進ちょく状況はどうか。

Q 今までに2回の委員会を開催して、来年秋の完成を目指している。

A 教育長



▲続編が待たれる村誌



長谷川康弘議員

村のゴミ処理の課題と今後は

村長 課題を把握し自治会と一緒に考えたい



▲ゴミの課題は解決できるか

Q

ゴミ問題は、各自治会に対応を委ねている。しかし、対策してもなかなか改善できない状況が続いている。村として自治会と協議して改善する方策はないものか。

また、西部広域が令和14年度稼働を目指す一般廃棄物処理施設の稼働後の分別方法やコストなど、現状との比較をどう予想するか。

A

村長

自治会には大変苦勞を掛けています。村ではゴミ置き場の修理や更新には材料費を

補助している。さらに自治会要望のなかのゴミ問題や、個別の相談にはその都度検討し対応している。今後も課題を把握しながら、必要な対策を一緒に考えていきたい。

廃棄物処理施設は進ちよくに遅れが出ている。稼働後の変更が見込まれるのは、粗大ゴミとプラスチック類である。現在、本村では布やシュレッダーゴミ、プラスチック類を一緒に出しているが、それぞれ個別に出すことになる予想される。

進化し魅力ある村づくりを

村長 土地利用計画を指針としている



河中博子議員

Q

431号北側の開発が進んでいる。24時間営業店の進出など、防犯・交通安全対策は万全か。

A

村長

防犯については、青少年育成村民会議や県公安委員会、また村民の皆様にも関心を持って協力をお願いしたい。

交通安全対策についても関係機関と協議しながら進めていく。

Q

海浜運動公園のリニューアルでは、ぜひインクルーシブ遊具※を取り入れた、誰にも優しい公園にしていきたい。

A

村長

これから具体化するなかで検討する。

※インクルーシブ遊具とは、障がいのある無にかかわらず楽しめる遊具のこと



▲開発が進む431号北側の農地

学校給食費の会計は役場で

教育長 運営方法も含め研究する



江田加代議員



▲豊かな給食は心と体を育てます

Q 教員のなり手不足や長時間労働が社会問題になっていく。学校は子どもの育ちの場であり、子どもたちのためにも、教職員の働き方改革の一環として、学校給食費の公会計化を求める。

A 平成31年、中央教育審議会の働き方改革に関する答申には、「学校給食費や教材費、修学旅行費等の徴収は、学校教師の本来的な業務ではなく、地方公共団体が担うべきである」との記述がある。

教育長

平成31年、中

央教育審議会の働き方

改革に関する答申には、

「学校給食費や教材費、

修学旅行費等の徴収は、

学校教師の本来的な業

務ではなく、地方公共

団体が担うべきであ

る」との記述がある。

それを受け、文部科

学省は学校給食の公会

計化を都道府県に通知

している。日吉津小で

は4月から1月まで口

座振替で給食費を徴収

その手続きは学校事務

職員が行なっている。

西部地区の実態は、

公会計化の推進と合わ

せ、運営業務の業者委

託も多くある。

日吉津村の安定した、

おいしい学校給食はど

うあるべきか、運営方

法も含め、研究してい

かなければと考えてい

る。

うなばら荘の決着と 王子製紙の増設は

村長 うなばら荘は適正な対応と管理で



橋井満義議員

Q 旧うなばら荘の最終的な決着をどう考えているか。今年度の土地貸借延長はなぜ必要か。またヤードクリエーションからの賃貸料は、当初契約時の収入予定額と実質収入はいくらか。

王子製紙の増設による税収見込みをどう立てているか、次年度予算に影響が大であり現状報告を求める。

A 村長 弁護士を交えて事業者の経営状況を確認し、一年間の延長を決めた。なお、事業開始までは月額3万5400円で、現在まで90万5554円である。建物の維持管理は所有者が適正に行われるよう求めている。

王子製紙増設については、設備の詳細が不明で税収見込みは示せない。



▲営業時のうなばら荘

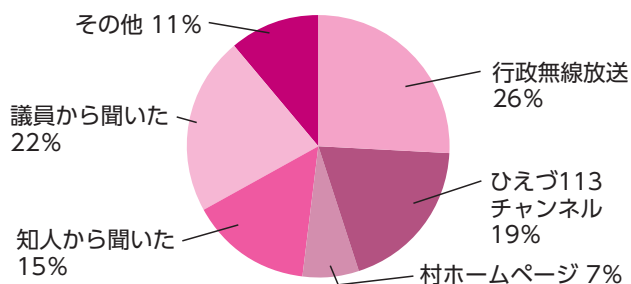
多数の傍聴 ありがとうございました

日吉津村議会では、村民の皆様には議会を身近に感じ、村づくりや施策への関心を持ってもらえるよう、日曜議会を開催しました。一人30分以内の持ち時間で、各議員が一般質問を行いました。当日は、39名の方に傍聴をいただきました。

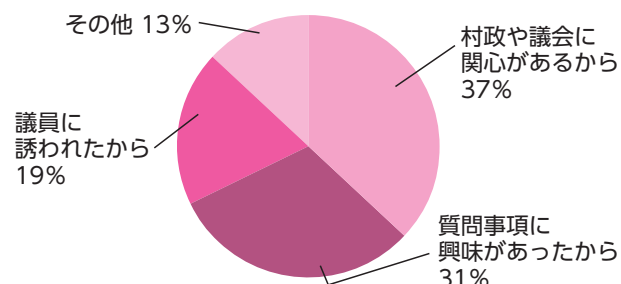
アンケート結果報告

傍聴の方にアンケートをお願いし、20名の方から回答をいただきました。

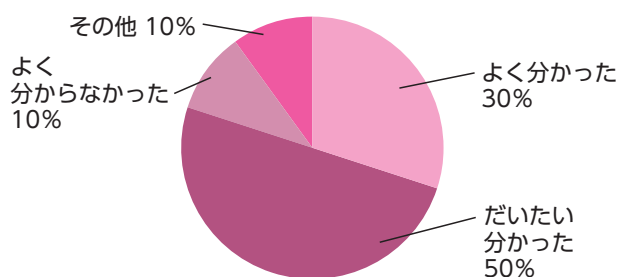
問1 日曜議会の開催をどのようにお知りになりましたか？（複数の回答もOKです）



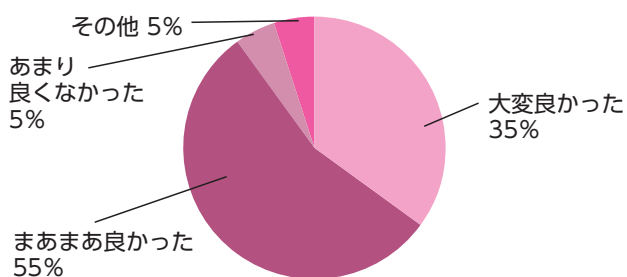
問2 傍聴された動機は（複数の回答もOKです）



問3 議員の質問や村長等の答弁などについて



問4 この日の日曜議会の開催について



問5 今後の議会運営について、その他お気づきの点について、お書きください。

- ・たくさんの傍聴の方がおり、関心が高い人いると思う。今回、質問と村長の答弁がしっかりされていて村の良さを実感出来た。
- ・今後とも休日開催についてぜひ検討してください。
- ・質問事項をもう少し詳しくしてほしい。
- ・質問事項の内容を文章で希望します。
- ・できることから即行動を求める。
- ・議員の質問内容について、住民の声を実際に聞いて議題にしているのだろうか？ 議員の頭の中だけで思いついただけのもののように聞こえ、住民にもっと寄り添った議員であって欲しい。

- ・30分の一般質問は傍聴でほぼ集中しやすいが、項目内容が多いと再質問が難しいと思った。
- ・傍聴エリアが狭い。
- ・3階はきつい。広く住民を呼びたいのならエレベーターがいる。
- ・ゆったり気軽に参加するためには、別室でモニターでの視聴がしたい。
- ・出入り自由とあるが、なかなか出入りできない。
- ・メモをしている方がいた。ひじ置きからテーブルがセッティングできたらと感じた。

たくさんの方に傍聴いただき本当にありがとうございました。
今回の提案内容を十分検討し、今後の議会運営を進めていきますのでよろしくお願いします。

第1回 議会モニター会議のご報告

村議会は、村民の皆様の代弁者です。そこで、村議会の活動について関心をもっていただくため「村議会モニター」の制度を設けました。

10名の村民モニターをお迎えして、初めての会議を行いました。

期日 令和6年4月27日(土)

主な内容

議長あいさつ・委嘱状交付／概要説明

「村議会のしくみ」／議場等見学／

2グループに分かれての意見交換



▲モニターの皆さんと（議場にて）

モニターの皆さんからのご意見・ご感想（一部）

- ・自治会での議会懇談会を前期・後期と2回くらい開催してほしい。
- ・対面の懇談会も必要だけど、現役世代にはSNS（インスタやYouTubeなど）を活用して情報提供を。
- ・（自治会の役員をしているが）地域に課題があった時、役場に行けばよいのか、議会に相談した方がよいのか、分からないという話があった。
- ・議会報への意見があった場合の返し方の工夫を（はがきが同封してあるとか）



▲グループに分かれて意見交換

- ・やわらかい用語使いや表現に努め、理解しやすいよう工夫を。（住民も、議会報などをとにかく目を通す癖をつけたい。）
- ・議会傍聴の中継を（オンラインで）ヴィレステでも中継してはどうか。
- ・「子ども議会」を開催しては。
- ・転入されたばかりの人には、自治会や地域に対する理解に少し温度差があるかな。ごみの出し方の徹底が難しかったり、役場の対応に不満を言う人もある。そうした点への対策にも努められたい。

●議会モニター（10名）の皆さま（敬称略・順不同）

梅林美智子（海川）・岩田悟（上2）・小林由紀子（富吉）・庄司和史（下口）・深田英男（今吉）
澤江孝二（海川）・田中美佐（上1）・末吉信太郎（上2）・坂田将一（富吉）・光谷純子（下口）

……今後も、年4回程度、様々なご意見をいただき、議会運営に活かしていきます。

一昨年オープンに続き、保育室増設中

追跡

ミライトひえづの今後

複合型子育て拠点、一昨年9月開館

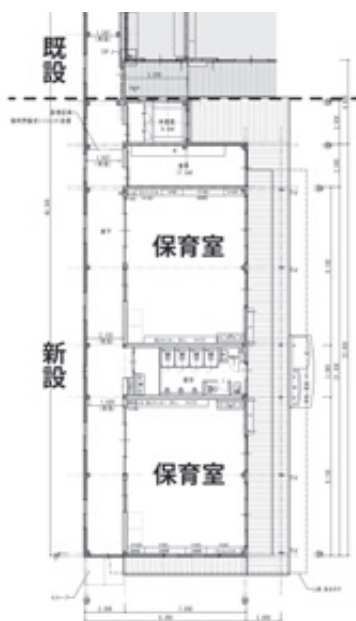
村の“ミライ”を担う子どもたちの「育ち」をしっかり支えていこうと願って、ミライトひえづは2022年9月にオープンしました。

それまで使用されてきた保育所（建設年：1976年）・児童館（1980年）・民俗資料館（1980年）・子育て支援センター（2007年）・ファミリーサポートセンター（2010年）をまとめて、新築したものです。（総工費12億5千万円）

保育所は、昨年4月認定こども園に

保育所は、保護者が仕事を持つなど、「保育に欠ける」家庭の子どもを保育するための施設ですが、家庭・保護者の事情に関わらずどの家庭の子どもさんも預けて、保育と合わせ教育的な指導も受けられるよう、昨年4月から、日吉津保育所は「ひえづこども園」に変わりました。

こども園保育室の増設に2億7千万円



▲保育室図面

昨年12月、村は、こども園の入園希望者の増（見込み）に対応して、保育室の増設を決めました。議会では、前年に新築したばかりのミライトひえづを多額の予算により増設することや、園庭も狭くなることに慎重な検討を求める意見もありましたが、採決の結果、1票差で予算案は承認され、保育

室の増設が決められました。今年9月末の完成を目指して工事がすすめられています。（新しい保育室は2部屋、4歳児・5歳児の保育室を増やす計画です）



▲保育室の増設工事中（6月時点）

児童館や民俗資料館の課題

現在、児童館の登録者は134名と多く、スタッフ（厚生員・指導員）は、児童の指導や対応に忙しい毎日です。また、スペースも不足していて、5～6年生については、小学校の特別棟の一室を活用して、宿題などをして過ごすようにしています。児童館は、児童の育成に重要な役割を担っています。スタッフは、全員が会計年度任用職員ですが、ここに正規職員も配置できないか、議会としては提案してきたところです。

一方、民俗資料館を閉鎖し「展示・交流室」としているスペースには、訪れる人は少ないのが実情です。入口が児童館と同じで、一般の方がフラッと訪れるには入りにくいこと、またここだけは教育委員会の管理となっており、通常、解説できるスタッフの配置がないことなどが、その要因だろうと思われます。

◆子育てしやすい村として注目が集まる日吉津村ですが、ミライトひえづをより効果的に活用するため、知恵と実践が必要です。

グラウンド・ゴルフ協会は現在会員数34名で、年代別は90代1名、80代17名、70代15名、60代1名、男女別では女子10名、男子24名で活動されています。

また10年前から高齢化等で人数が減少していますが、練習日は週5日で、木曜日と日曜日は休みです。

協会の皆さん

海浜運動公園の「指定管理導入」が議論されていますが、何を希望されますか。



亀尾 栄さん

亀尾さん

高齢となり、芝生管理を希望したい。

芝生広場の使用料は今までどおり無料としてほしい。

播間さん

芝生のコンディショニングのキープ、夏場の芝生に大がかりな散水など素人集団には手に余る作業と感じている。

「指定管理導入」には納得です。

中原さん

芝生に水かけや芝刈りが必要ですが、芝生

広場が広いので重労働です。また、肥料散布は知識のある人に助けてもらおうと、芝生がもつと元気になると思います。

西さん

芝生広場の使用料は、今までどおり免除してほしい。

前田さん

倉敷市スポーツ振興会は、指定管理運営を行っていた。倉敷スポーツ振興課にTELし、詳細を聞いてみればと思う。

協会員が減少していますが、会員募集のアピールを。



播間卓志さん

播間さん

ボールを叩いて、少し先のゴールを目指し転がしていく競技ですが、体を動かしていい汗をかきます。

そしてプレーするといろいろな人との交流もまた楽しいです。



9時30分からです。



中原さん

自分が思ったようにできたときは喜び、そうでないときはため息。いろんな人と話をして笑う。これが健康の源と思う。

西さん

健康寿命を延ばすため、一緒にグラウンド

まずは大会に参加してみたい。若手の方々の加入は大いに歓迎です。

前田さん

①会議を行い、新しい意見を取り上げる。

②体協の会議等で問題点を取り上げ、討論し結論をグラウンド・ゴルフ協会に提言してもらう。

③会員同士の意見を出し合い、アピール方法の検討を行う。

村民 インタビュー

日吉津村 グラウンド・ゴルフ

亀尾さん

グラウンド・ゴルフでホールインワンが出れば、一日中気持ちがいっぱい上がります。やってみれば楽しいものです。

行政や議会に要望や指摘などありましたらお願いします。



中原純子さん

中原さん

松林の中の草刈りをしてもらえたら、風通しも良くなるし、もつと気持ちよく利用できると思う。

前田さん

①議会（議員）や行政は、グラウンド・ゴルフに対する理解度が不足している。

②議会情報が不足している。

亀尾さん

今、開発されようとしている海浜運動公園の一面に、日吉津村戦没者慰霊碑が建立されています。

そこで、これにふさわしい公園をつくり、後世に残していただきたい。



前田日出夫さん



毎回の練習時間は、

播間さん

日曜議会の開催は、非常に良い取り組みだと思います。可能ながぎり続けていただきたい。

「議会だより」の内容について感想をお願いします。

播間さん

新聞より大きめの書体を使い、予算審議をはじめ村民生活にかかわるさまざまな審議のやり取りが、分かりやすく掲載されている。また、村民インタビュー欄は人のぬくも

りが伝わります。

亀尾さん

すべてのページで分かりやすくとても良いです。



西 和男さん

西さん

議会ひえづ178号「追跡」での海浜エリ



アの活性化は大変参考になりました。

中原さん

議会で話し合われた結果がどうなったのか、今後どう実行されるのかが分かりにくい。

皆さんから貴重なご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

議会のうごき

全国町村議会 議長・副議長研修会

とき 5月21日(火)
ところ 東京国際フォーラム

研修会では、大正大学教授・江藤俊昭氏「議員のなり手不足は『住民自治の危機』、元流山市政策法務室長・帖佐直美氏「ハラスメントー自治体議員が注意すべきポイント」、慶応義塾大学教授・谷口尚子氏「将来の地方議会を担うのはだれか」と、現在の地方議会の問題についてそれぞれ講演していただきました。



西部町村議会議長会 正副議長・局長 合同研修会

とき 7月1日(月)
ところ 日南町役場 他

午前中は、日南町内の「株式会社ファームイング」のトマトハウス、「わたらの楽校大宮学舎」を視察しました。

午後からは、日南町役場で西部町村の各議会の運営の諸問題について、事例を持ち寄り意見交換をおこないました。



高知県中土佐町議会 行政視察

とき 7月4日(木)
ところ ミライトひえづ

中土佐町から議員10名、町職員3名が来村されました。視察目的は「子育て支援の取り組みについて」。

移住・定住支援、子育て支援、雇用支援、地域連携などについて村から説明。本村の子育て支援に高い関心を持っていただいていた。



編集後記

6月定例会では県内初の日曜議会を開催しました。多くの方に傍聴に来ていただき、アンケートを通じていろいろな意見を頂戴しました。

また、今年度から議会モニター制度も導入しました。この二つの取り組みにより、村民の皆様の意見を聞き、新たな議会を作りたいと思います。

— 長谷川 記 —

次回の定例会は
9月です



表紙

子育てサークル
ひまわり

【議会広報広聴常任委員会】

前田 昇・長谷川康弘
斉田 光門・石原 浩明
松田 悦郎